

# 令和7年 **1**月の**優しさ**通信



## (1) **介護保険料最高 脱却図る大阪市**

### **高齢者に予防活動促す 抑制めざしプロジェクトチーム**

- \*大阪市は介護予防の推進に向けたプロジェクトチームを立ち上げました。
  - \*月 9249 円（2024～2026 年度基準値）と全国で最も高い介護保険料の抑制を目指します。
  - \*2024 年 3 月末時点で、大阪市内の 65 歳以上の人口は約 67 万人。
  - \*要介護認定を受けていない約 49 万人のうち、予防活動に取り組んでいない人は約 20 万人。
  - \*介護保険は国内に住む 40 歳以上に加入義務があり、65 歳以上の保険料は 3 年ごとに各自治体や広域連合が基準となる月額を見直します。
  - \*大阪市の保険料が全国で最も高いのは都市の人口構成が背景にあります。
  - \*大阪市の 65 歳以上の高齢世帯に占める単身世帯の割合は 2020 年時点で 45% と、全国平均より 15 ポイント以上高くなっています。
  - \*家族のサポートを受けにくいため介護サービスを必要とする人が多くなる傾向に。
  - \*要介護認定率は 2022 年度時点で 26.8%。全国平均は 19%。
  - \*大阪市の 65 歳以上の高齢者のうち、住民税非課税世帯の割合は 2021 年度時点で 49.3%。全国平均は 33.2%。
- （2024 年 12 月 3 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

(2)  **子育て支援 神戸市 1位 180都市調査、競争激化**

**成長応じ切れ目なく 産後ケア・学童拡充**

\*自治体の子育て支援で、2024年は子どもの成長に応じた切れ目のない支援を充実させる神戸市が初めてトップとなりました。

\*神戸市は2021年は35位、2022年も36位でしたが、2023年は4位に躍進。

\*一時金支給や家賃補助など保育士の処遇を改善。

\*2022年度には待機児童ゼロを実現。

\*保育事業者が互いの施設を視察し、共同で保育士の研修をしたりしています。

\*母親の産後ケアから学童保育の拡充など子どもの成長に応じた切れ目のない支援に力を入れます。

\*11月、子どもが生まれた全世帯を対象とした見守り事業を始めました。

(2024年12月14日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

